

広島平和教育研修

富士見中学校2年生 5名

「原爆の子の像」は、広島平和記念公園内にある佐々木禎子さん（像のモデル、原爆で死亡）の同級生等による募金運動により作られた像です。像の真下にある石碑には「これはぼくらの叫びです これは私たちの祈りです 世界に平和をささぐための」と刻まれています。



8月5日から7日まで、富士見中学2年生5名(引率教諭1名)が「広島平和教育研修」を実施しました。この研修で平和祈念式典への参列、平和記念資料館見学のほか、被爆者の方から体験談を伺うなど、平和学習を深めてきました。参加者5名が、この研修を通じて体験した「想い」をご紹介します。



広島で感じたこと
富士見中学校2年
みつゐ りょうへい
三井 諒平

今から約67年前、広島に人類初の原子爆弾が降下されました。その傷は、今でも消えることはありません。しかし僕は、その傷を消してしまっ
てはいけないと思いました。
なぜなら、式典に参加した時こんなにもたくさんの方が昔のことを考え、さらに平和を願っていることを知ったからです。また、被爆をした八木さんのお話では、こんなにも辛いことを伝えてくれる人々がいるんだと思いました。そして資料館では、「一瞬でこんなにも被害が出るんだ」と思い、8月6日の出来事は、僕の想像をはるかに上回っていました。
本当のことを伝えられるのは、体験した方だけです。しかしその方たちに少しでも近づけたと思います。
この少しを利用し、傷を消してはいけないという「想い」を伝えていきたいです。



平和へむかい
富士見中学校2年
こしみず しゅん
古清水 駿

原爆ドームを見た時、僕が感じたことは「すごい」とか「残酷」という想いではあり
ませんでした。自国の力にうぬぼれ、国のためという名目で様々な物資を捧げ、それをしないと「非国民」と呼ばれた過去。とても情けなく思い、「哀れで無念であった」と心が痛くなりました。
そんな広島も復興を遂げ、今では近代化が進んでいます。また、原爆ドームも世界遺産に登録され、被爆された方の無念な気持ちを受け継ごうとしています。
しかし、世界のどこかでは戦争が繰り返され、不安な毎日を送っている人がたくさんいます。
平和公園には、戦争と核兵器がこの世からなくなったら消える「火」があります。この「火」を見て、一日でも早く消えることを祈りながら、自分のできることを自分なりにしてゆく義務があることを感じました。



私が考える平和

富士見中学校2年
からさわ きり
唐澤 季里

私が研修の中で一番印象に残ったのは、資料館で見た、被爆して亡くなった女の子の衣服です。

その女の子は、私と同じ14歳でした。激しい痛みの中、家族にも会えず、「がれき」となった家で亡くなっていったと思うと、とてもつらくて、言葉が出ませんでした。一瞬にして全てを奪った原爆の恐ろしさを痛感しました。

今回の研修で、「平和」とは何か、深く考えさせられました。毎日ご飯を食べられること、学校で友達に会えること、ゆつくり眠れることなど、私たちはあたりまえに日々の生活を送っています。

それは、平和な世の中だからであり、その「ありがたさ」を忘れてはいけないと思います。そのためにも、戦争や核兵器のない世界が、いつまでも続くことを願います。



広島平和学習に参加して

富士見中学校2年
なかやま まゆ
中山 茉優

私は、今回広島研修に行かせていただいた特に関に印象に残ったことが二つあります。

一つ目は、証言のつどいで被爆者の寺本さんがおっしゃっていた「消したい一年」という言葉です。原爆投下の一年を思い起こした時、最初に頭に浮かんだそうです。この時私は、「なぜ消したいとまで思ってしまったかを、伝えるのだろう」と思いました。

二つ目は、資料館見学の際、目を背けたくなってしまいうような写真、遺品、爪や皮膚が多く展示されていたことです。それを見て、苦しく悲しい想いで、いっぱいになりました。私は、今回の研修で知った数えきれないほどの強い想いを、自分が広く伝えたいと思えました。「これは忘れない、思い出したくない」とまで思ってもそうせずに、後世に懸命に伝えてもらった私たちだからこそ、出来ることがあります。これから精一杯、伝える努力をしていきます。



研修を通して考えたこと

富士見中学校2年
つちだ なつみ
土田 菜摘

広島平和学習を通して学んだことは、一つ目に、被爆者の方が今も苦しみを続けていることです。原爆が落とされた直後だけでなく、その後も原爆病や差別、偏見で苦しみを続けていることを、証言を通して学びました。

二つ目は、世界中で核廃絶が願われていることです。平和祈念式典には、海外の方も参加していました。

しかし、平和記念資料館には現在、各国の核兵器所有数の展示物があり、その数は予想よりはるかに多かったです。それを見て小さいことからでも世界に働きかけて行く必要があると思えました。

三つ目に、平和の考え方は一人ひとり違うということです。式典前日、平和記念公園の外で「日本は核武装すべきだ」と訴えている団体がいました。これは、自分の考え方は反対でした。

絶対に核兵器を持つてはいけない。世界中どの国も、使

富士見町 人材育成海外派遣事業 中学校生徒参加者募集

町内在住および在学の中学2年生を対象に、ニュージーランドでのホームステイや学校生活等の体験学習を通じて、郷土をより正しく理解し、国際感覚豊かな人材を育成することを目的に実施する、富士見町人材育成海外派遣事業への中学校生徒参加者を募集します。

申込 問 生涯学習課
生涯学習公民館係
☎62-7900

- 【対象】 富士見町在住および在学の中学2年生
- 【派遣先】 ニュージーランド・タスマンディストリクト・リッチモンド
- 【内容】 ホームステイ、ワイメアカレッジとの交流等体験学習を予定（※研修内容は変更になることがあります）
- 【募集人数】 15人（書類審査等を行い、定員を上回った場合は抽選）
- 【費用】 一人あたりの総経費約40万円、個人負担額約20万円（※その他、諸経費が個人負担として加わります）
- 【申込期間】 10月1日（月）～19日（金）
- 【申し込み先】 富士見中学校生徒は富士見中学校、その他の中学校生徒は、コミュニティ・プラザ内生涯学習課